

令和6年度実施事業 実施報告会 市民活動推進補助事業

令和7年5月31日（土）
市役所本庁舎4階 会議室2～5

令和6年度に市民活動推進補助金を活用し、活動を行った各団体に
事業の報告を行っていただきます。

●スタート支援の部

- NPO 法人 ASOVIVART
- わわわのわ
- にじカフェ
- 特定非営利活動法人
まるほ横丁

●ステップアップ支援の部

- 特定非営利活動法人SUPU
スタンドアップパドルユニオン
- 一般社団法人リトルハブホーム

※この報告会はどなたでも傍聴することができます



お問い合わせ

茅ヶ崎市くらし安心部市民自治推進課協働推進担当(市役所本庁舎4階)

0467-81-7126(直通)

令和6年度実施市民活動推進補助事業 実施報告書 目次

令和6年度実施市民活動推進補助事業実施報告会 進行予定表	1
令和6年度実施市民活動推進補助事業について	2
市民活動推進基金（愛称：市民活動げんき基金）にご寄附いただいた方々	5
茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿	7

令和6年度実施市民活動推進補助事業実績報告書

◆◆スタート支援◆◆

① アートの力で“まち”を元気に！ASOVIVART（アソビバート）	
NPO 法人 ASOVIVART（アソビバート）	8
② ～子どもの遊びと学びにやさしい茅ヶ崎を～	
大人も子どもも豊かに育つまちづくり★茅ヶ崎アソマナプロジェクト★	
わわわのわ	16
③ 「414（よいし）」カードを通して死生観について対話する会	
にじカフェ	24
④ まるほ横丁に大集合～いっぱい食べて、いっぱい遊ぼう～	
特定非営利活動法人 まるほ横丁	29

◆◆ステップアップ支援◆◆

① 夏休み子供向けSUP体験会 2024	
特定非営利活動法人SUPUスタンドアップパドルユニオン	35
② ボランティア養成講座 HPの作成	
一般社団法人リトルハブホーム	41

令和6年度実施市民活動推進補助事業実施報告会 進行予定表

各団体が事業の実施状況を発表し、その後市民活動推進委員会が今後の事業展開や収支決算等についてコメントします。

13:00	開 会
-------	-----

◆スタート支援の部

単位：円

発表順	団体名	事業名	回数	総事業費	補助金 申請額
①	NPO法人ASOVIVART	アートの力で“まち”を元気に！ ASOVIVART (アソビバート)	1	114,078	100,000
②	わわわのわ	～子どもの遊びと学びにやさしい茅ヶ崎を～ 大人も子どもも豊かに育つまちづくり★茅ヶ崎アソマナプロ ジェクト★	1	131,046	100,000
③	にじカフェ	「414(よいし)」カードを通して死生観について 対話する会	1	93,800	76,000
④	特定非営利活動法人 まる ほ横丁	まるほ横丁に大集合～いっぱい食べて、いっぱい 遊ぼう～	1	180,334	100,000
休憩					

◆ステップアップ支援の部

単位：円

	団体名	事業名	回数	総事業費	補助金 申請額
①	特定非営利活動法人SUPUスタ ンドアップバドルユニオン	夏休み子供向けSUP体験会 2024	3	1,344,000	500,000
②	一般社団法人リトルハブ ホーム	ボランティア養成講座 HPの作成	2	626,436	500,000
休憩					

16:00 見込み	閉 会
--------------	-----

令和 6 年度実施市民活動推進補助事業について

1 申請団体募集

広報ちがさき、市公式ホームページ等で申請団体を募集しました。

○募集期間 令和5年11月1日（水）～令和5年12月26日（火）

2 企画書作成会

○日 時 令和5年11月13日（月）～令和5年12月21日（木）までの間

事前予約制・個別実施

※期間中の11/15（水）・12/20（水）を除く

14 時～、16 時～、18 時～のいずれかの時間帯

3 公開プレゼンテーション

スタート支援申請事業及びステップアップ支援申請事業については、申請団体によるプレゼンテーションと、市民活動推進委員会委員との質疑応答を行いました。

○日時 令和6年3月16日（土）

12時30分～17時00分

○対象 スタート支援 4 団体、ステップアップ支援 4 団体

4 補助事業の選考

非公開の選考会議で市民活動推進委員会委員が各団体の事業内容を次の項目で評価しました。

（スタート支援申請事業については★印がある3項目のみを評価）

(1) 公益性★：事業の成果は、市民や地域の利益になる（つながる）ものか。また、市民や地域のニーズに適した事業であるか。

(2) 発展性★：補助を受けることで、団体や事業の発展につながるか。

(3) 費用の妥当性★：対象経費の内容、補助の申請額は妥当であるか。事業の内容や効果が、金額と見合うものであるか。

(4) 事業実現性：実行可能な方法・スケジュール・予算で事業計画が立案されているか。また、新たな視点や発想から提案されたものであるか。創意工夫がなされているか。

(5) 自立性：自己努力による資金確保に努めているか。

5 選考結果

選考会議の審議結果（事業及び補助額の評価結果）は、市長に報告され、市長が予算の範囲内で各事業の採択及び不採択を決定しました。

スタート支援 4 団体、ステップアップ支援 2 団体での事業実施となりました。

6 事業実施後の評価について

(1) 市民活動推進委員会の評価

市民活動推進委員会は、団体が市民活動推進補助基金により実施した事業の報告を受けて、当該事業に対して次のような観点から5段階評価を行うとともに、コメントを付します。

○事業の実施状況（事業内容）について

○事業の効果について

○今後の展開や発展について

(2) 段階評価

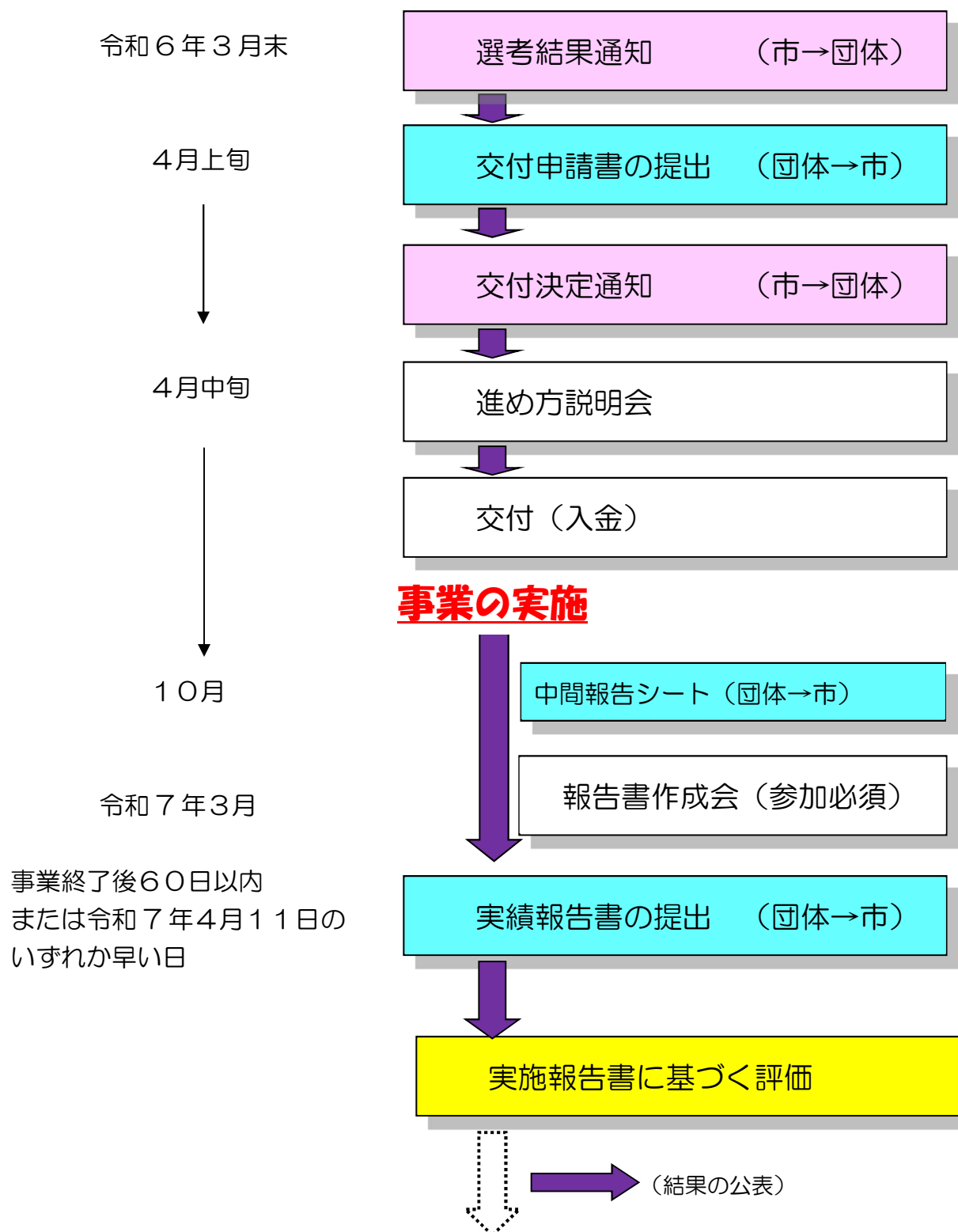
市民活動推進委員会が行う「事業内容」「効果」についての評価は、5段階評価とします。

評点	評価段階
5	事業実施前の想定をはるかによい方向に上回った。
4	事業実施前の想定をやや良い方向に上回った。
3	事業実施前に想定した範囲の内容であった。
2	事業実施前の想定よりやや低いと感じられた。
1	事業実施前の想定よりはるかに低いと感じられた。

(3) 市民活動推進委員会の役割

個々の事業実施結果に対し、第三者的視点からの評価、助言を行うとともに、補助事業の全体像を把握することで、今後の制度改善や市民活動の推進、団体サポート等についての審議を効果的に進め、評価結果及び審議結果を行政にフィードバックします。

事業実施前の準備から評価までの流れ



評価結果は、市民自治推進課で一元管理し、市民活動の推進及び制度の改善に活用します。

市民活動推進基金（愛称：市民活動げんき基金）にご寄附いただいた方々

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

寄附者（敬称略）	寄附金額（円）
歌声サロン「チーパッパ」	7,724
湘南ヤクルト販売株式会社	13,708
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	53,130
ふるさと納税（吉田 伸右）	34,000
市民活動推進補助制度実施報告会設置募金箱	3,500
（合）SEA TURTLE	10,000
益永 律子	10,000
匿名	10,000
歌声サロン「チーパッパ」	5,550
ふるさと納税（匿名）	18,000
錦織 弘	5,000
特定非営利活動法人NPOサポートちがさき	1,585
ふるさと納税（匿名）	14,000
匿名	10,000
ふるさと納税（匿名）	60,000
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	59,842
ふるさと納税（匿名）	68,000
歌声サロン「チーパッパ」	5,114
ふるさと納税（匿名）	41,000
ふるさと納税（匿名）	21,000
ふるさと納税（匿名）	33,000
ふるさと納税（小池義孝）	10,000
ふるさと納税（匿名）	68,000
ふるさと納税（匿名）	41,000
ふるさと納税（匿名）	58,000
ふるさと納税（匿名）	20,000
ふるさと納税（山崎彰則）	10,000
ふるさと納税（匿名）	18,000
ふるさと納税（匿名）	18,000
合計	727,153
平成17年度からの合計	14,347,836

市民活動推進補助事業 協力企業

市民活動推進基金自動販売機設置協力企業様から、対象となる自動販売機の売り上げの一部をご寄附いただきました。

寄附者（敬称略）	寄附対象自動販売機設置場所
コカ・コーラボトラーズジャパン 株式会社	浜須賀会館 海岸地区コミュニティセンター 小出地区コミュニティセンター コミュニティセンター湘南 茅ヶ崎地区コミュニティセンター 鶴嶺東コミュニティセンター 鶴嶺西コミュニティセンター 高砂コミュニティセンター



茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿

令和7年5月1日現在

区分	委員名	所属
市 民	やま ぐち あつ し 山 口 敦 史	公募
	とう ま え り 藤 間 英 里	
市民活動を行う ものの代表者	さか た み ほ こ 坂 田 美 保 子	特定非営利活動法人湘南 NPO サポートセンター
	いち かわ あゆみ 市 川 歩	特定非営利活動法人湘南スタイル
事業者の代表者	かん の あつし 菅 野 敦	湘南信用金庫執行役員茅ヶ崎営業部
	やま く けい や 山 来 京 生	公益社団法人茅ヶ崎青年会議所
	ふな やま よし のり 船 山 福 憲	株式会社タウンニュース社
学識経験を 有する者	だか やま かす しげ 高 山 和 茂	茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会
	わか ばやし ひで とし 若 林 英 俊	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会
	やま た しゅう じ 山 田 修 嗣	文教大学国際学部

実績報告に関する資料

スタート支援の部

No	事業名	団体名	ページ番号
①	アートの力で“まち”を元気に！ ASOVIVART(アソビバート)	NPO法人 ASOVIVART(アソビバート)	P.8
②	～子どもの遊びと学びにやさしい茅ヶ崎を ～大人も子どもも豊かに育つまちづくり ★茅ヶ崎アソマナプロジェクト★	わわわのわ	P.16
③	「414(よいし)」カードを通して死生観につ いて対話する会	にじカフェ	P.24
④	まるほ横丁に大集合 ～いっぱい食べて、いっぱい遊ぼう～	特定非営利活動法人 まるほ横丁	P.29

第 9 号様式（第 17 条関係）

市民活動推進補助事業実績報告書

令和 7 年 3 月 31 日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 NPO法人ASOVIVART

代表者氏名 代表 吉田 裕美子

令和 6 年 4 月 1 日付け 6 茅市自第 2 号で交付決定、令和 6 年 9 月 30 日付けで変更決定を受けました「アートので” まち” を元気に！ ASOVIVART（アソビバート）」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業名	アートの力で”まち”を元気に！ASOVIVART（アソビバート）
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	・年齢や、障がいの有無に関係なく幅広く楽しんでいただける実績のある、『ウミガメロボットの遊泳パフォーマンス』を主軸に、参加できる内容のアートワークショップや出店によるインクルーシブイベントを開催しました。 ・開催場所:まちづくりスポット茅ヶ崎 ・入場無料 ・内容詳細 【ハロウィン マルシェ】 ① キッズネイル（大人も可）『カシス&さむかわのネイルやさん』:子どもでも楽しめる内容の塗料などを使用したネイルのサービス。 ② フェイスペイント 『清水千尋さん』:肌がかぶれたりしない、ボディペイント専用の画材を使用したフェイスペイント。 ③ 整体『pocapoca 日なたぼっこ』:保護者を始めとした大人の来場者向けに短時間で施術できるマッサージを実施。 ④ コーヒー&お菓子『カレッタカレッタカレッタ』:社会福祉法人翔の会運営のカフェに参加いただき、飲食物を提供。 【インクルーシブ ゲーム】 ① ボッチャ『市民活動団体 チアフル』 インクルーシブスポーツのボッチャをハロウィン仕様に飾り付けて実施。参加者にお菓子を配布。 ② アームレスリング『茅ヶ崎支援学校 トモイキッド』 茅ヶ崎支援学校の教員の皆様にご協力いただき、レスラーと腕相撲を行うコーナーを実施。 ③ バルーンアート:同じく『茅ヶ崎支援学校 トモイキッド』のご協力のもと来場者にバルーンアートを配布。 【アートワークショップ】 ① 海賊船制作 『Bee Art School』:ロボットショーのストーリーと関連性のある「海賊船」の工作ワークショップを実施主に幼児～小学校中学年向けの内容。 【イベント】 ① ビオロボット トークショー 『NPO法人ASOVIVART』:環境問題とハロウィンをテーマに、代表の西川が居住

	している沖縄の海と、ここ茅ヶ崎の海も関連づけたストーリー。 【その他】 ・海賊船フォトスポット 『NPO 法人 ASOVIVART』：車椅子を使用している方なども利用できる海賊船のフォトスポットを設置。 ・ビオロボット以外にも、壊れて動かなくなってしまったロボットをフィギュアとして再生したものを複数展示、サメやイカ、様々な魚類などに子供の興味を喚起した。柔らかく安全なため、誰でも触ったり、手に取って記念写真を撮影したりなど、年齢や障害の有無を問わず盛り上がった。 ・オリジナルで制作したナポレオンフィッシュの塗り絵を配布、マーカーや色鉛筆の貸し出しもある塗り絵コーナーを設置した。子供同士、子供と大人の交流を産んだ。
事業の参加者数	約400人
事業の日程	10月26日(土) 13:30～17:00
事業の成果と今後の展開	コンパクトな形のイベントにしたことにより、背景の異なる方々が一緒に楽しむ場を作ることができました。 押し付けがましくない、自然な形での“インクルーシブイベント”を実現するために、「目的のブース、ワークショップに参加したら帰る」のではなく、この場に長く留まって会場全体を回遊したり会場内で会話が生まれる仕組みを作るために、休憩場所の設置や、子供連れの来場者が保護者だけでも楽しめるブースを設置するバランスなどを工夫しました。 補助金を活用してプールや水運搬のタンクを手配しました。ロボットも使用しているサーボをイベントに向けて新しいものに交換することが出来て安定した運用ができました。 曇天のため150名程度の来場を想定しておりましたが、予想を上回る400名以上の来場がありましたが出展者の皆様快く対応していただき、トラブルも無くイベントを開催することができました。来場者はメインは2歳～小学生の子

供とその保護者でしたが、中学生以上の子供や、年配の方、車椅子の方など障がいのある方もご来場いただき、当団体のイベントとしては幅広い参加者層に参加してもらうことに成功した事例となりました。

整体やネイル、コーヒー・お菓子も、多くの方にご利用いただき、子供を連れてきた大人の方、ご高齢の方にも楽しんでいただくことができました。

バルーンアートやフォトスポットなど、「貰うだけ」「前に立つだけ」というように参加ハードルが低いブースを設置したことも上手く機能していたように感じています。

来場者からは、『障がいがある子どもと参加しても親も思い切り楽しめるイベントだった』『楽しい中での学びが、家族みんなで楽しめた』 出店者の皆さんからも『来場者だけでなく、出店者同士での交流がとても嬉しかった』等の声をいただくことができました。

広報活動においてはこれまで地道に続けてきたInstagramからの集客が効果を生んでおり、フォロワー数は600人弱と特筆すべき数字ではないものの、茅ヶ崎周辺のアクティブユーザーの割合が高く、これまでも告知を出すと投稿を見てくれる・参加してくれるフォロワーが多数で、当日の天候判断の連絡も含めて、来場者との接点としてとても効果を発揮しました。

運営上の課題としては、協力団体の皆様との連携をよりスムーズにするための事務作業の体制の強化すること。準備期間の各メンバーの負担を軽減しよりスムーズに進行すること。

想定以上の多くの来場者に対応できるよう人員を強化すること。

来年以降は、これまでメインとして展開してきた「ビオロボット」事業を継続しつつ、アートとあそびで子どもたち、そして地域をつなぐインクルーシブ事業を確立していきたいと考えております。

収支決算書

収入

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
事業収入	8,000	5,600	イベント 出店料¥800×7
補助金収入	100,000	100,000	市民活動推進補助制度(スタート支援)
団体収入	14,225	8,478	団体負担金
	122,225	114,078	

支出

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
物品費・製作費	103,245	¥94,748	・工芸用ラテックス L-5000 ¥3,118×5(15590) ・25キロトルクサーボ ¥2,250×6(13500) ・7.2v ニッケル水素バッテリー4000mAh ¥3,559×5(17795) ・INTEXビニールプール ¥16,828×1 ・ポリタンク20L ¥2,050×2 ・アクリル絵具 ¥880×9 ¥686×30(28500) △Amazon割引 ¥1565
宣伝費	10,980	¥11,330	・チラシ制作等 ネット印刷 200枚 ¥5,430 ・団体所有インクジェットプリンタ替インク ¥5,900
会場使用料	8,000	¥8,000	まちスポ茅ヶ崎使用料 ¥8,000
合計	122,225	114078	

第 10 号様式（第 17 条関係）

購入物品使用報告書

1	物品の名称	取得日	取得価額
	INTEX レクタングラ フレームプール	10/17	¥16,828-
	使用方法		
	イベントにて海洋生物のロボットによる遊泳パフォーマンスを行う際にロボットを泳がせるプールが必要なため。		
2	物品の名称	取得日	取得価額
	使用方法		
3	物品の名称	取得日	取得価額
	使用方法		

- 備考 1 使用方法欄には、取得した物品をどのように使用したかを、具体的に記述してください。
- 2 「ユーザー登録」を必要とする物品を購入した場合は、団体が登録し、登録したことがわかる書類を添付してください。
- 3 購入した物品の写真及び物品を使用していることがわかる写真を添付してください。

イベント当日の様子



告知物(チラシ & Instagram)



第 9 号様式（第 17 条関係）

市民活動推進補助事業実績報告書

令和 7 年 3 月 31 日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 わわわのわ

代表者氏名 代表 菊地 萌

令和 6 年 4 月 1 日付け 6 茅市自第 1 号で交付決定、令和 6 年 9 月 6 日付け変更決定を受けました「～子どもの遊びと学びにやさしい茅ヶ崎を～大人も子どもも豊かに育つまちづくり★茅ヶ崎アソマナプロジェクト★」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください

事業実施報告書

事業名	～子どもの遊びと学びにやさしい茅ヶ崎を～ 大人も子どもも豊かに育つまちづくり ★茅ヶ崎アソマナプロジェクト★
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	大人も子どもも幸せに育つキーワードは「遊んでたら学んじやった！！」略して「アソマナ」！！茅ヶ崎にアソマナな遊び場や学び場をつくる「茅ヶ崎アソマナプロジェクト」。ここでは大人も子どもと一緒に遊び学ぶ場を実践中です。この場に参加する市民がこれからの私たちの暮らしの中の「遊び」と「学び」の在り方を問い直すきっかけとするための事業です。 (1)～里山あそびと暮らしの場～ わわわひろば 【対象者】子育て中の親子／学校に行かずに過ごす小中高生の子どもたち／子どもの育ちを支えたい地域の人 【開催日程】金曜日10時半～14時頃／基本毎週実施(雨天中止) 【場所】シオジイ農園 柿の木ひろば(茅ヶ崎市芹沢) 【参加費】無料 【内容】みんなの日常の暮らしを支えるやさしいつながりが生まれる居場所であり、遊び場であり、学び場である「わわわひろば」。茅ヶ崎里山公園隣接の農園という立地と環境を活かして、大人も子どもも一緒に頭と身体を使った体験を通じた遊びや学びが主な活動。アソマナプロジェクトの実践の場。 【遊びや学びの一例】 ・焚き火(火おこしや焚火の管理) ・制作活動(泥と石でつくるかまど作り、木工、草木や実を使った造形) ※一回で終わることもあります数週間製作にかかるものもある。 ・野外調理(持ち寄り材料でお味噌汁、焼き芋、バウムクーヘン、野草の天ぷらや佃煮、ぐるぐるパン※木の棒にパン生地を巻いて焚火で焼くパン) ・植物を暮らしに生かす知恵(藍の葉たたき染め、玉ねぎ染め、草木染め) ・多世代との関わり(乳幼児とその親、地域のいろんな大人たちと一緒に過ごします) ・その場での役割(準備と片付け、子どもたちのお世話、大人のお手伝い、絵本の読み聞かせなど) 【周知方法】 ①チラシ2000枚(市の施設への配架、掲示板への掲示、市民活動サポートセンターへの配布と掲示、市民活動団体や近隣施設や店舗への配布依頼、自団体イベントや共催イベントでの配布) ②Instagram @wawawanowalabo フォロワー数 611 @wawawahiroba フォロワー数 275

	(2)自主上映会「ゆめパのじかん」 【対象者】不登校当事者(行き渋り含む)とその家族／教育や保育、まちづくり、遊び場づくり、地域の居場所関係者／子どもの育ちを支えたい地域の人 【日程】9月23日(月・祝)10:30～12:00 ※自由参加のランチタイムシェア会 12:00～14:00 【場所】神奈川県立茅ヶ崎里山公園パークセンター 【参加費】一般参加 1000円 子ども(18歳以下)無料 ※茅ヶ崎市と教育委員会の後援あり&市の広報や掲示板、チラシ配架
事業の参加者数	(1) わわわひろば 【参加者数】 年間合計450名程度 内訳:大人200名、子ども250名 開催数:45回、平均10名(2～50名) ※同じ人でも複数回参加は複数回カウント (2)ゆめパのじかん上映会 大人61名【有料参加者31名、無料招待者30名】 子ども(18歳未満)29名【中学生1名／小学生14名／未就園児14名】 ※無料招待者50名、内30名が参加。所属は茅ヶ崎で活動する市民活動代表者、小出の推進協児童部会長、茅ヶ崎里山公園職員、市内子どもの居場所関係者。
事業の日程	(1)～里山あそびと暮らしの場～ わわわひろば (日程)毎週金曜日10時半～14時頃 2024年度の実施回数:45回 ※6回中止/理由は長期休み、悪天候、スタッフ不足 (2)自主上映会「ゆめパのじかん」 (日程)9月23日(月・祝)10:30～12:00 ※終了後のランチタイムを自由参加のシェア会としました。

事業の成果と今後の展開	(1)～里山あそびと暮らしの場～わわわひろば～ ※Instagramアカウント@wawawahirobaで毎週様子を発信中 【参加者の属性】 ①未就園児の親子 ②不登校や行き渋りがある小学生 ③不登校の高校生 ④学校や園に行き渋りや発達の困りごとがある子を育てる保護者 ⑤地域のいろんな大人(20～70代) ⑥地域で市民活動をする活動者(当事者でもあることが多い) 【成果】 ・不登校の子どもたちが抵抗なく学べる自然豊かな環境を活かした「頭と身体を使った遊び」をベースにした体験学習を主にした活動としたことで、多様な遊びと学びの場の広がりが見られた。(年度途中で事業変更した内容) ・本助成金を使って追加購入したブルーシートや樽などは柔軟な発想で様々な遊びの道具に使うことができた。カセットコンロは「材料持ち寄り味噌汁」や野草の調理や草木染めなどの活動でほぼ毎回使っている。(年度途中で事業変更した内容) ・本助成金を使って購入した学習用ボードゲームやカードゲームは、わわわひろばの遊び道具として使用している。不登校の子どもたちがわわわひろばに来ている大人や小さな子供たちとゲームをする中で交流したり、遊びながら学習する様子が見られている。ゲームを一緒にすることでコミュニケーションが苦手な子どもたちも、様々な人と自然と多様な場面でのやり取りをすることになり、子どもたちのコミュニケーション力が自然についていくので、今後も活用していきたい。(年度途中で事業変更した内容) ・不登校になった高校生が、わわわひろばとの出会いをきっかけに、考えや様子の変化し、新たな道に進んでいく様子を間近に感じられたことは、運営にかかわった人たちの活動への大きなモチベーションになっている。今その高校生は通信制の高校に通いながら、運営メンバー＆わわわひろばスタッフとして活動してくれる仲間になった。この経験から、小中高校生の参加者は、それぞれの特技や興味を活かして、主体的に場づくりに関わり、やさしいつながりの場づくりの仲間として活躍してもらえる場を整えていこうと考えている。 ・リピーターが増えたことで、ひろばの運営ボランティアメンバーとして参加してくれるメンバーが増えた。(年度当初9人だった運営メンバが年度終わりには18人に増員) ・のぼりは当初2セット購入予定だったが、のぼり棒と台は2セット購入し、旗は6枚作成した。理由は、のぼり棒がなくても活用できる場所があること、また、ひろば開催時にのぼりを活用することで目を引き、よい広報効果だと感じたからである。
-------------	--

	(2)ゆめパのじかん上映会 【参加者の属性】 ①当事者(不登校や学校や園に苦手さを持つ子どもたちやそれを支える家族や周囲の支える近親者) 大人25名(全て有料参加者)、子ども20名 ②支援者(子どもの居場所運営者や不登校の子どもたちや家族を支える活動者) 大人36名(有料参加者6名、無料招待者30名)、子ども9名 【成果】 今回の上映会は子どもの居場所づくりの連携のきっかけする目的で、ちがさき学童保育の会、小出地区まちぢから協議会、茅ヶ崎里山公園職員、リトルハブホーム代表、ふるさとファーマーズ代表、弊団体スタッフとボランティアなど支援者30名を招待し、一緒に鑑賞した。上映後の自由参加のランチタイムのシェア会にも多くの方が参加し、2時間程、意見交換と交流を持った。 当事者の保護者が現状困っていることを涙ながらに語る場面、支援者から今の市内の居場所情報や今後の動きを情報交換する場面など、双方向のやり取りが活発に行われた。「安心・安全を感じる居場所とは?」「学校や地域、家庭の役割は?」などについてみんなで意見を出し合い、2月のアソマナ研究会や居場所づくりに向けた茅ヶ崎市内の支援者と当事者ネットワークづくりの第一歩になった。 映画の上映会を通じた発信は、社会や地域の課題を理解し、市民活動の必要性を市民に理解してもらうことや地域活動のネットワークづくりに有効だと感じている。来年度以降は関連団体と連携ネットワークをつくる中で、共同企画として映画上映会を実施する計画を立てている。
--	---

わわわのわ 収支決算書

収入

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
団体収入	5869	46	他自主事業の収入より補填
事業収入	30000	31000	ゆめパのじかん参加費 大人1000円×31名＝31000円
助成金・補助金	100000	100000	市民活動推進補助制度
	135869	131046	

支出

内訳欄の（番号）は対応する領収書番号

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
映画上映料	50000	50000	ゆめパのじかん上映料(1) 50000円
旅費	6100	0	茅ヶ崎里山公園減免対応にて0円
物品費	8196	6787	対話&学習用品(2) (10) 模造紙1ット918円、付箋1セット900円、 マッキー12色1セット908円、ポスカ8色1セット1418円 絵の具3色赤691円、黄659円、青659円 養生テープ4個1456円 配送料・手数料460円、Amazon割引-1282円
	16545	12732	遊び道具&工作・染色活動用品 ブルーシート5枚(3,4) 1343円×2枚、1427円×3枚 樽(6)1480円×1、晒4枚(2,5) 1055円×3、1120円×1
	9855	10963	学習用ボードゲーム・カードゲーム(2) カタカナナーシ1118円、漢字はかせかるた1650円 漢字パズル2017円、九九&足し算ボード1599円×2 OKプレイ(イギリス版五目並べ) 2980円
	5712	13328	のぼり制作費用【設置台2セット+旗6枚】
	19800	18650	IWATANIカセットコンロタフまる(10) 6820円×2台 カセットボンベ24本(10、11) 5010円
印刷製本費	19661	18586	わわわひろば2000部 5534円(12) ゆめパのじかん上映会1500部 5183円(13) 団体活動紹介チラシ3000枚 7869円(14)
	135869	131046	

作成したチラシ

わわわのわ

2024年度

夏

2024/8/24(土)

茅ヶ崎里山公園
多目的広場

秋

2024/11/4(土)

茅ヶ崎里山公園
茅ヶ崎前広場

冬

2025/1/11(土)

茅ヶ崎里山公園
パークセンター前

春

2025/3/20(木・祝)

茅ヶ崎里山公園
茅ヶ崎前広場

茅ヶ崎里山プレイパーク

時間：10:30～15:00

※天候により、中止する場合や
場所が変更になる場合があります。
SNSにて確認をお願いします。

共催：茅ヶ崎河原公園協会・小畑池ビルサービスグループ

「詳細はこちら」

Instagram @wawawawababo





里山あそびと暮らしの場

わわわひろば

日時：毎週金曜日 10:30-14:00ごろ
場所：シオシティ農園 緑の広場（茅ヶ崎市戸沢2490-1）

※駐車・駐輪スペースあります

※天候や都合により中止する場合はSNSにてお知らせ

自然の中で、みんなとやり、失敗したり、
みんながうれしそうに、おもしろい、
ゲームしたり、おぼえたり、
上手や下手もできよう！
何もしないで過ごすかほめたあそび





「詳細はこちら」

Instagram @wawawawababo





一緒につくっていきましょう！

茅ヶ崎里山プレイパークもわわわひろばも
子どもたちが「やってみたい」に挑戦できる場であるために、
「自分の責任で自由に遊ぶ」ことへの理解をお願いします。

のびのびと自由に遊ぶ場所。
地域のみんなで一緒につくっていきましょう！！

プレイパークってどんなところ？

地域のみんなでつくる
のびのびと自由に遊ぶ遊び場
赤ちゃんとお年寄りまで
誰でも来られて繋がりあえる、みんなの居場所

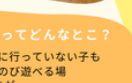
小学生以上は子どもたちだけで参加ですが、
行事保障のため、本人の同意と保護者の同意書と受付票に
子ども自身が記入していただくことが必要です。
保護者の方のご理解と参加するお子さんへの説明をお願いします。





わわわひろばってどんなところ？

乳幼児も、学校に行っていない子ども
みんながのびのび遊べる場
子育て中の人たちが
のびのび過ごして繋がれる場
地域のみんなで子どもの育ちを見守る場

一緒につくっていきましょう！

茅ヶ崎里山プレイパークもわわわひろばも
子どもたちが「やってみたい」に挑戦できる場であるために、
「自分の責任で自由に遊ぶ」ことへの理解をお願いします。

のびのびと自由に遊ぶ場所。
地域のみんなで一緒につくっていきましょう！！

「詳細はこちら」

Instagram @wawawawababo





一緒につくっていきましょう！

茅ヶ崎里山プレイパークもわわわひろばも
子どもたちが「やってみたい」に挑戦できる場であるために、
「自分の責任で自由に遊ぶ」ことへの理解をお願いします。

のびのびと自由に遊ぶ場所。
地域のみんなで一緒につくっていきましょう！！

「詳細はこちら」

Instagram @wawawawababo





一緒につくっていきましょう！

茅ヶ崎里山プレイパークもわわわひろばも
子どもたちが「やってみたい」に挑戦できる場であるために、
「自分の責任で自由に遊ぶ」ことへの理解をお願いします。

のびのびと自由に遊ぶ場所。
地域のみんなで一緒につくっていきましょう！！

「詳細はこちら」

Instagram @wawawawababo





一緒につくっていきましょう！

茅ヶ崎里山プレイパークもわわわひろばも
子どもたちが「やってみたい」に挑戦できる場であるために、
「自分の責任で自由に遊ぶ」ことへの理解をお願いします。

のびのびと自由に遊ぶ場所。
地域のみんなで一緒につくっていきましょう！！

「詳細はこちら」

Instagram @wawawawababo





一緒につくっていきましょう！

茅ヶ崎里山プレイパークもわわわひろばも
子どもたちが「やってみたい」に挑戦できる場であるために、
「自分の責任で自由に遊ぶ」ことへの理解をお願いします。

のびのびと自由に遊ぶ場所。
地域のみんなで一緒につくっていきましょう！！

「詳細はこちら」

Instagram @wawawawababo





一緒につくっていきましょう！

茅ヶ崎里山プレイパークもわわわひろばも
子どもたちが「やってみたい」に挑戦できる場であるために、
「自分の責任で自由に遊ぶ」ことへの理解をお願いします。

のびのびと自由に遊ぶ場所。
地域のみんなで一緒につくっていきましょう！！

「詳細はこちら」

Instagram @wawawawababo





一緒につくっていきましょう！

茅ヶ崎里山プレイパークもわわわひろばも
子どもたちが「やってみたい」に挑戦できる場であるために、
「自分の責任で自由に遊ぶ」ことへの理解をお願いします。

のびのびと自由に遊ぶ場所。
地域のみんなで一緒につくっていきましょう！！

「詳細はこちら」

Instagram @wawawawababo





一緒につくっていきましょう！

茅ヶ崎里山プレイパークもわわわひろばも
子どもたちが「やってみたい」に挑戦できる場であるために、
「自分の責任で自由に遊ぶ」ことへの理解をお願いします。

のびのびと自由に遊ぶ場所。
地域のみんなで一緒につくっていきましょう！！

「詳細はこちら」

Instagram @wawawawababo





一緒につくっていきましょう！

茅ヶ崎里山プレイパークもわわわひろばも
子どもたちが「やってみたい」に挑戦できる場であるために、
「自分の責任で自由に遊ぶ」ことへの理解をお願いします。

のびのびと自由に遊ぶ場所。
地域のみんなで一緒につくっていきましょう！！

「詳細はこちら」

Instagram @wawawawababo





一緒につくっていきましょう！

茅ヶ崎里山プレイパークもわわわひろばも
子どもたちが「やってみたい」に挑戦できる場であるために、
「自分の責任で自由に遊ぶ」ことへの理解をお願いします。

のびのびと自由に遊ぶ場所。
地域のみんなで一緒につくっていきましょう！！

「詳細はこちら」

Instagram @wawawawababo



わわわカフェ

だいたい毎月1回開催。10:30-12:00ごろ
場所：茅ヶ崎山公園パークセンターなど
共催：神奈川県公園協会・小児発達センターグループ

〔詳細はこちら〕

instagram @wawawonawablow

～こゝまでのはなしのつづき～
＊あひむ、子どもが「学校に何かいい」を運んだら
＊学校では取れない方法のほなし などなど
＊学校や園の関わりや考えなどもやっています

わわわカフェってどんなところ？

ちょよっと気になるハナシのタネをめぐる
おはなしとおしゃべりの会
私たちの日々の暮らしの身近なことから
ちょよっと気になる社会のことまで
隔隔年（おとし）をとお呼びすることも
赤ちゃんからおじちゃんおばあちゃんまで
誰でも参加できますよ。

映画上映会

「ゆめだのじかん」
日時：2024/9/23(月・祝)
場所：茅ヶ崎山公園
パークセンター

遊ぶように学ぼう

アソナプロジェクト

遊んでたら学んじやった!!

遊び（アソ）と学び（マナ）をくっつけてあること・・・
みんなのウェルビーイング（幸福）が生まれ、
コズミック（創造、社会、身体、情緒、認知）
が育まれる場になっちゃうよ！
そんなアソナ文化に共感してもらえたら、集まろう！
みんながプロジェクトを盛り上げていきますか？
ぜひ一緒に！

～こゝまでのおおまか～
学校の先生・保護士・幼稚園教諭・サレインズ・保護士・地域の方
オルガニクスグループやフリースクール関係者
など様々で会話がはずむお集まりを予定しています

アソナ研究会

日時：2025/2/8(土)
場所：茅ヶ崎山公園
パークセンター

〔詳細はこちら〕

instagram @wawawonawablow

Vision (めざすもの)

わわわのわって？

子どもたちも
子育て中の人たちも
地域のおじいちゃんおばあちゃんも
～みんなが
安心して暮らせる
地域社会をつくること

Mission (やること)

- ＊地域の第三の居場所づくり
- ＊遊び場や学び場づくり
- ＊子育てのつながりづくり
- ＊赤ちゃんからお年寄りまでが
つながれる場づくり
- ＊多様性に寛容な地域社会づくり

Member (仲間たち)

子育て中のメンバー
子どもメンバー
地域サポーターで活動中や
一緒に場づくりをしませんか？
お気軽にお問い合わせください。

ご支援はこちら/

syncic@wawawonawablow

わたしたちのモットーは
～できることごと～
～だれもが子どもと一緒に
やろうといひいやってます

わわわわわ

instagram @wawawonawablow

【支援していただいている助成金】

第2期 茅ヶ崎福祉子育て基金（茅ヶ崎市立市民会館）

遊び場や学び場づくりのお手伝い。

お話しや座談会などあなたの地域に出張します。
イベント出店もしています。お気軽にご相談ください。
お問い合わせ：wawawonawakids@gmail.com

【ゆめパのじかん上映会@茅ヶ崎】

2024年9月23日（月・祝）10：30～（開場10：00）
神奈川県立茅ヶ崎里山公園
大人1000円／18歳以下無料

主催：あわのわ
 共催：神奈川県公園協会・小田急ビルサービスグループ
 後援：茅ヶ崎市・茅ヶ崎市教育委員会

★申込フォームよりお申し込みください。
 問い合わせ・詳細は裏面へ

やってみたいが
 いっぱいある。

**ゆめパ
 のじかん**

重江良樹 監督作品
 （「きとにあらたえんやん」）

令和6年度
 茅ヶ崎市
 市民げんき基金
 補助事業

神奈川県川崎市にある子どもたちの居場所「川崎市子ども夢パーク」通称「ゆめパ」。
 遊んで、転んで、立ち止まって……誰もが安心して自分らしく過ごせる居場所で育まれる、
 子どもたちのかけがえない「じかん」を情感豊かに描いた珠玉のドキュメンタリー。

監修・撮影：長尾真樹 構成・プロデューサー：大澤一孝 編集・松井洋平 音楽：渡辺 秀典 制作協力：ほろぽろフィルムズ・スナックスタジオ
 撮影協力：川崎市、川崎市子育て支援センター、川崎市児童福祉課、川崎市青少年相談室、茅ヶ崎市児童館等。いろいろな場所で子どもたちが遊ぶ姿、笑顔溢れる瞬間、未来への希望を描く。ボラティア・メンバーたち 支援：ウッソー・プロジェクト・ユースボード 配給：パンダライズ 2022 価格：90分 / 日本語 / カラー / ベトナム語字幕あり
 助成：文化庁文化芸術振興費補助金（映画芸術活動支援事業）独立行政法人日本政策投資機構 後援：茅ヶ崎市社会福祉協議会

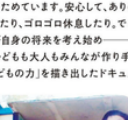
yumepa-no-jikan.com

何をしてもいい。何もしなくてもいい。 きみは、きみのままでいい。

「ゆめバ」

ゆめバは子どもたちみんなの遊び場。約1万㎡の広大な敷地には、子どもたちの「やってみたい」がたくさん詰まっています。手作りの道具で思いっきり遊ぶ子どもも、一緒にどろんこになっている服子、くるとと降る子。小さな子どもを連れて自主保育のグループ、ゆめバにいらついても子どもとも大人とも関わる大人の「好き」をあためています。安心して、ありのままの自分で過ごせる場所で、虫や鳥を観察したり、木々園に入り熱中したり、ゴロゴロ休息したり、でも、時には学校や塾のこと気がなる子ども...、新しい仕事前にも、一人の子自身の将来を考え始め...。

子どもも大人もみんなが作り手となって生まれる「居場所の力」、時に悩みながらも、自ら考え歩もうとする「子どもの力」を極大出したドキュメンタリー。

いまを生きてすべての子どもと、 かつて子どもだった大人に贈る、生きる力を育む「じかん」

2020年度の日本の児童や生徒の自殺者数は初めて400人を超え、小・中学生の不登校児数はおよそ20万人となりました。社会環境の大きな変化に大人たちが戸惑い、不安を感じている時こそ必要となる「子どもの居場所」。本作の撮影中、2020年3月に新型コロナウイルスの感染拡大により全国の学校が一斉休校となった時もゆめバは子どもたちを受け入れ続けていました。

家康でもない、学校でもない、第3の子どもたちの居場所を公設民営で運営している先進的なモデルとして、全国の実証自治体から注目を集めるゆめバの日々を3年にわたり撮影したのは、前作『もとにきらえん』の重宝山樹監督。プロデューサーはもとにきらえん、『踊る人』の大澤一幸、音楽とナレーションをあたった声優が魅力的なコンセンサスライター・見玉奈央が務めています。

遊ぶこと、学ぶこと、休息すること、人と共にあること。その輝きも揺らぎも、子どもたちがけがえのない「じかん」は、きっと大人たちにも大切なものを思い出させてくれることでしょう。










上映会の申し込みはこちら
<https://forms.gle/CjPwkin2QfUcLUP7>



主催 **わいわい**
問い合わせ: wawawanowkids@gmail.com
共催: 神奈川県公園協会・小田急ビルサービスグループ
後援: 茅ヶ崎市、茅ヶ崎教育委員会

【この上映会は令和6年度茅ヶ崎市民びげん基金（茅ヶ崎市）補助事業です】

【参加者アンケートより抜粋】

(1)～里山遊びと暮らしの場～わわわひろば

《子育て世代》

・芹沢に住んでいるので、茅ヶ崎駅周辺や海側の子育てイベントに参加するのはハードルが高くほぼ参加出来ていません。でも、わわわひろばは徒歩で行けるので私達には毎週行けるありがたい子育て広場です。未就園児から小学生まで異年齢の子ども達に関われるので(親同士も)、核家族で1人目の子どもでも自然の中で多くを体験させて貰っています。親も色々な方達と話せてリフレッシュできます。親子で公園に行くだけでは出来ない発達豊かな遊びが沢山ある場所です。子育て現役のお母さん達が運営してくれているので、安心感もあり、私達にはとてもありがたいです。

・母のワンオペではできないと思っていた焚き火や里山遊びが、暖かい大人の見守りの中でできるのは本当にありがたいことです。

・繋がりができて、困った時に頼れる仲間が増えました。子どもと二人ではなかなかできない遊びを楽しめています。

地域にこういう場が必要とされていること、みんなが繋がることでどんどん大きな流れにしていけることを実感しています。

・おひさまに当たって、おしゃべりしたりリラックスしてわわわひろばに行ったあとはママもなんだか元気が出ている感じがします。

《地域の大人》

・ここでしか出会えない人とのつながりができる

・わわわひろばは平和なので参加すると心が和みます。

・自然の中で、大人はのんびり日頃のストレス発散でき、子供は五感を使った遊びができ、とても貴重な遊び場だと感じています。

《小学生》

・小さい子と遊べたりお姉さんとも遊べたり色々な学年がいて楽しいです

・パン焼き(ぐるぐるパン)が楽しかった。

・学校を休みたいときにわわわに行けて学校の負担が軽くなります！ありがとうございます。

・♡♡♡♡♡♡♡♡

《高校生》

・初めてわわわひろばに参加した時は不登校で今後の進路について凄く悩んでました。ですが、わわわひろばに参加したことで新しく色々な大人の方に出会い、全日制の学校に通うことが全てではないということに気づくことができました。今は通信高校へと転学し、楽しく充実した学校生活を送っています！(高1女子)

(2)ゆめパのじかん上映会

・映画に出てくる度の子どもたちも自分の「気持ち」をしっかり持っていて、悩みながらも日々過ごしている姿に涙が止まりませんでした。一人一人に安心できる居場所があるからこそ、立ち止まったり、前へ進むことができるのだと思いました。

・子どもたちの言葉、シンプルで、でも直感で、とても的を得ていることばかりで、すごい！と思いました。「本人はつらいかもしれないけど、自分で悩み、考え、道を決めていくのはとても素敵だと思う」というスタッフの方の声が印象に残りました。そんな子たちの力を信じて支えてあげられる大人の一人になりたいと思いました。子どもたちの言葉、シンプルで、でも直感で、とても的を得ていることばかりで、すごい！と思いました。

・同じ時間、速度で人が学んで大きくなることなんてないなと思いました。やはり、今の社会は同じスピードで大きくなっていった人が正しくなってる。「そんなのいいじゃない」と。どこかで変化していかないといけない、と改めて考えさせられました。

・とても素晴らしい映画でした！大人たちはついつい子どもの力を過小評価し、求めていることまで干渉してしまいがちですが、子ども自身が自ら考え、行動する力を育ててあげることが大切なんだと思いました。大人もそうですが、「何をしたいのかわからない」という時期は誰にでもあります。ただそこでしっかり悩んで、自分の足で歩くこと、悩みながらも前に進むことが大切であると感じました。

・宮大工を目指すサワの顔付きが物語の初めと終わりで全然違っていたのが印象的でした。次があれば子どもと観たいと思います。

第 9 号様式（第 17 条関係）

市民活動推進補助事業実績報告書

令和 7 年 3 月 24 日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 にじカフェ

代表者氏名 代表 錢坂 則子

令和 6 年 4 月 1 日付け 6 茅市自第 7 号で交付決定を受けました「「414(よいし)」カード を通して死生観について対話する会」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

事業名	「414(よいし)」カードを通して死生観について対話する会
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	第1回目 【開催日程】 R6年5月25日(土) 10時～13時 【場所】 にじカフェ 茅ヶ崎市幸町13-20 【講師】 幸ハウス代表 川村真妃さん(緩和医) 【参加人数】 16名・にじカフェスタッフ3名 【内容詳細】 4名程度のグループを作成。テーブルを囲んだ着席スタイルで実施 10時～ 「After I dieカード」を使って自己紹介 10時30分 幸ハウス・「414カード」についての紹介と事例紹介 (パワーポイント使用) 11時～ 「414カード」の体験・気持ちのシェア 12時～ ランチ交流会 13時 終了 第2回目 【開催日程】 R6年10月18日(金) 10時～13時 【場所】 にじカフェ 茅ヶ崎市幸町13-20 【講師】 幸ハウス共同代表 植竹真里さん(看護師) 【参加人数】 18名・市役所職員・にじカフェスタッフ3名 【内容詳細】 4～5名程度のグループを作成。テーブルを囲んだ着席スタイルで実施 10時～ 「After I dieカード」を使って自己紹介 10時30分 幸ハウス・「414カード」についての紹介と事例紹介 (パワーポイント使用) 11時～ 「414カード」の体験・気持ちのシェア 12時～ ランチ交流会 13時 終了 ※告知方法 ・両日ともチラシを作成し地域包括支援センターなどへチラシを送付、にじカフェのお客様へ手渡しました ・にじカフェのホームページ・インスタグラム・Facebook内・公式ライン内で適宜告知しました
事業の参加者数	5月 16+スタッフ3名 計19名 (ランチは16名+講師) 10月 18+市役所職員+スタッフ3名 計22名(ランチは18名+講師)

事業の日程	第1回目 R6年5月25日（土）10時～13時 第2回目 R6年10月18日（金）10時～13時
事業の成果と今後の展開	【参加者詳細】 トータル参加者数 34名（スタッフ外） 地域包括・ケアマネージャー 8名 看護師・介護士 6名 その他 20名 【事業の成果と感想】 ・両日とも目標人数は達成できたので、告知方法なども踏まえて良かったと思います。 ・参加者は包括・ケアマネ・看護師・介護士などの専門職が全体の約4割程度となり、今回の事業対象である専門職の方々に興味を持って参加していただけたのも良かったと思います。また、「事業所にこの体験を持ち帰り共有します」とのご感想もいただき、今後の広がり期待するところです。 ・414カードをお作りになった講師二人の思いや事例紹介は胸に詰まるものがあり、涙される方も多く私も深く感動しました。会の雰囲気もとても温かく、穏やかで、進め方も素晴らしく、死について話しているのに笑いも多々ありお招きしてよかったと感じています。 ・参加者からのご感想として 「介護中のおばあちゃんのことを考えながらやっていた。本人が自分でやれる内に知りたかった」 「死は遠いものだと思ってたけれど、今を考えることなんだと気がついた」 「絵が可愛らしく素敵な色なので、死について考えているという実感なくできた」 「同じカードを選んでもお話する内容が全く違うので、他の方の想いを聞くのが楽しかった」 「カードに書いてあるどの言葉も目に止まってもっとゆっくりやりたかった」などの声が聞こえてきました。 この対話会をきっかけにご自身で414カードを購入してご家族で活用したり、職場でもやってみたいとの声もあり広がりを感じています。 ・ランチ交流会では更に打ち解けて話がはずみ、死生観の話・職場での体験や改めて自己紹介などを各グループが行っていました。LINEの交換も盛んにしていました。ランチを共に過ごす時間を持てたからこそその温かな交流となり、この事業で期待していた横のつながりができる良いきっかけとなったと思います。

	【今後の展開】 ・414カードを通した死生観のお話会は継続したいと考えています。健康寿命と寿命の差を少なくすることができるツールだと思っていますし、「死」を見つめることで「今」を考える良いきっかけとなると信じています。茅ヶ崎市民が全員が体験して良いと思っていますので、今後も活動を継続したいと考えています。 ・今後はにじカフェスタッフで「414カード」の会を開催したいと考えていましたが、幸ハウスのお二人の進行や温かな雰囲気を経験し更にスキルアップが必要と考えます。来年度もぜひお招きして、会開催のノウハウを学びたいと思っています。一方で、私たちにじカフェも地道に経験を積み、将来は自分達が講師役となり会を運営していきたいと考えています。R6年度は茅ヶ崎市内にある看護専門学校の地域看護実習場となり、16名の学生さんと共に「414カード」を使った対話を体験することができました。またカフェの午後の時間にその場にいらっしゃるお客様と実施することも少しずつできています。にじカフェ主催で定期開催している〈介護のお話会〉の内にも盛り込み、〈知る・体験できる〉機会を多く設け、私たちも経験を増やしたいと考えています。 ・今後は学校・職場など外に出ていくことも考えています。 ・課題はお金です。現在はこの補助金をいただき開催できていますが、カフェをお休みしての開催となるため収益を上げながらも良い場を設ける必要があり継続して考えていかなければならない問題点だと考えています。とはいえ、今回この事業を行うことで今までつながりがなかった方々にもにじカフェを知っていただくことができ、カフェのお客様としてご利用してくださったり、ご紹介で来店される方も増えています。来年度もカフェの運営、414カードの対話会ともに認知度が広がり、地域に貢献できる場として発展していけるように努力します。
--	--

収支決算書

収入

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
1.補助金収入	76,000	76,000	市民活動推進補助制度
2.参加費	15,000	17,000	500円×34人
3.団体収入	945	800	団体負担金
	91,945	93,800	

支出

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
1.謝金	40,000	40,000	講演費用全2回分
2.交通費	6,080	6,080	講師の交通費JR富士駅からJR茅ヶ崎駅 2回分往復代金
3.物品費	10,025	11,807	414カード1,980円×4セット7,920円 送料600円 A4ファイル100枚入720円 A4コピー用紙500枚入504円 A4封筒100枚入1,463円 プロジェクターレンタル300×2回600円
4.チラシ印刷費	8,520	9,900	A4両面4色マットコート90/500部2種類
5.チラシ郵送費	12,320	12,320	切手140円×88枚
6.ランチ交流会食材費	15,000	13,693	5.23ロピア4,166 5.24たまや2,050 10.17ロピア7,477
	91,945	93,800	

第 9 号様式（第 17 条関係）

市民活動推進補助事業実績報告書

令和 7 年 3 月 28 日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 特定非営利活動法人 まるほ横丁

代表者氏名 理事長 松本 将志

令和 6 年 4 月 1 日付け 6 茅市自第 3 号で交付決定を受けました「まるほ横丁に大集合～いっぱい食べて、いっぱい遊ぼう～」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

事業名	「まるほ横丁に大集合～いっぱい食べて、いっぱい遊ぼう～」
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	○場所：茅ヶ崎市芹沢 2491 (※前茅ヶ崎市議員山田悦子さんの農福連携のための畑の広場) ○実施方法：ワークショップ形式(能動的体験) ○毎月の参加者内訳及び活動内容 4月 21 日(日)(大人5名、障害児者7名、小学生以下5名) ・ピザ作り、野菜収穫、虫捕り 5月 26 日(日)(大人5名、障害児者9名、小学生以下6名) ・ピザ作り、看板作り 6月 30 日(日)(大人5名、障害児者5名、小学生以下6名) ・ピザ作り、スイカ割り、かき氷、野菜収穫、 9月 29 日(日)(大人4名、障害児者5名、小学生以下6名) ・ピザ作り、芋掘り、広場遊び 10月 27 日(日)(大人5名、障害児者9名、小学生以下4名) ・ピザ作り、野菜収穫、看板作り、広場遊び 11月 24 日(日)(大人5名、障害児者6名、小学生以下4名) ・ピザ作り、野菜収穫、広場遊び 12月 14 日(日)(大人6名、障害児者6名、小学生以下4名) ・しめ縄飾り作り、石焼き芋 2月 16 日(日)(大人3名、障害児者4名、小学生以下4名) ・ピザ作り、野菜収穫 3月 23 日(日)(大人4名、障害児者4名、小学生以下6名) ・ピザ作り、野菜種まき ○周知方法 Instagram、チラシの配布(コミュニティセンター等各回 20 部) ○保険 市民活動等災害補償制度が使用できたため、当初予定していたボランティア行事用保険には加入せず。 ○物品について テーブルチェアセットを購入することにより、作業スペースを確保し、安全面に留意して活動することができた。 ○実施内容の総括 ワークショップ形式でピザの作り方、焼き方を体験しながら展開していくと、回を重ねるごとに参加者の能動的な行動が増えていった。特にピザの作り方に関しては、リピーター参加者が講師役となって初参加に教えるという場面も増えていった。 毎回ピザ作りという同じ内容だったことで飽きてしまうというマイナス面もあったが、同じ活動だったからこそ見通しをもって参加でき、回を重ねるごとに参加者それぞれに自身の役割がある“みんなで作るイベント”に変化していった。

事業の参加者数	のべ142名
事業の日程	2024年4月21日(日)、5月26日(日)、6月30日(日)、9月29日(日)、10月27日(日)、11月24日(日)、12月14日(日) 2025年2月16日(日)、3月23日(日)
事業の成果と今後の展開	休日の居場所、過ごしが難しい方にとっての居場所となったり、新たなコミュニティを広げたりすることの一助を担うことができたのではないかと感じている。ピザ作りを通して、五感への刺激、切ったりこねたり等の役割を果たす責任感等、参加者にとって貴重な経験となったのではないだろうか。食後もサッカーやフリスビー、なわとび等で体を動かしたり、おしゃべりを楽しんだりとみんなで有意義な時間を共有することができた。 また、今後については、共生社会の実現に向け活動し、居場所としての可能性を強く感じており、より発展させていきたい気持ちはあるが、メンバーそれぞれが仕事も忙しく、情報発信やより多くの方の参加へ向けての難しさを感じている。ピザづくりの事業に関しても今年度はげんき基金の補助があり、参加費を抑えて事業を行うことができたが、来年度以降は未定である。ピザ窯に亀裂が入り、いつまでピザ窯を使用できるかも不透明である。ピザにこだわらず、他の事業(ビーチクリーン、畑作業等)も行っていくことで、余暇の過ごしや障害の有無に関わらずあらゆる人が集まることのできる空間を目指して、来年度以降も取り組んでいきたいと考えている。







maruhoyokocho

...



収支決算書

収入

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
事業収入	100,000	79,700	4・5・6・9・10・11・2・3月分 大人1500円×36人＋障がい者500円×49人＋小学生以下0円×41人 12月分 大人100円×6人＋障がい者100円×6人＋小学生以下0円×4人
補助金収入	100,000	100,000	茅ヶ崎市市民活動推進補助金
団体補填	0	634	
	200,000	180,334	

支出

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
食糧費	160,000	170,174	4月 17,312円 5月 19,865円 6月 19,682円 9月 30,564円 10月 26,955円 11月 16,150円 12月 6,464円 2月 8,578円 3月 24,604円
印刷製本費	11,000	1,500	チラシ120部 1,500円
物品費	21,400	8,660	テーブルチェアセット① 4,380円 テーブルチェアセット② 4,280円
保険料	7,600	0	
	200,000	180,334	

実績報告に関する資料

ステップアップ支援の部

No	事業名	団体名	ページ番号
①	夏休み子供向けSUP体験会 2024	特定非営利活動法人SUPU スタンドアップパドルユニオン	P.35
②	ボランティア養成講座 HPの作成	一般社団法人リトルハブホーム	P.41

第 9 号様式（第 17 条関係）

市民活動推進補助事業実績報告書

令和 7 年 3 月 27 日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 特定非営利活動法人 S U P U

スタンドアップパドルユニオン

代表者氏名 理事長 細井 隆

令和 6 年 4 月 1 日付け 6 茅市自第 5 号で交付決定を受けました「夏休み子供向け SUP 体験会 2024」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

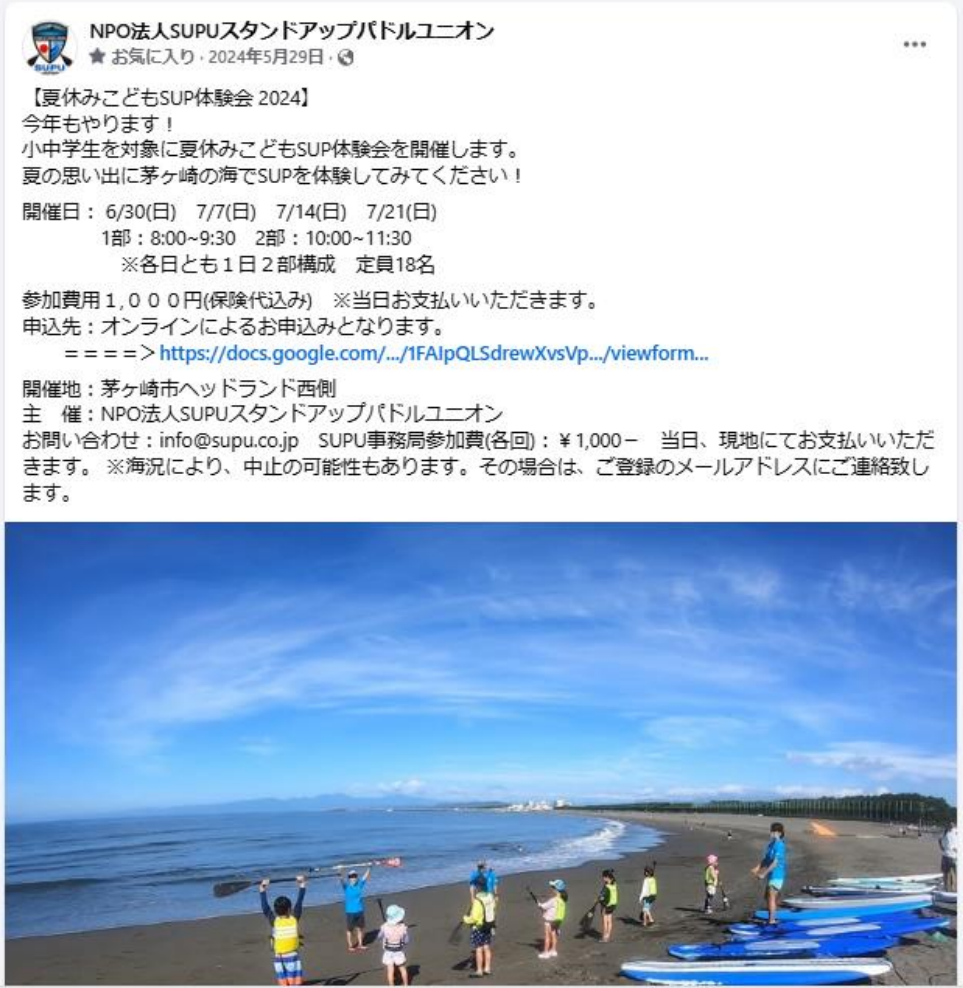
1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業名	夏休み子供向けSUP体験会 2024
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	実施場所：茅ヶ崎海岸ヘッドランドビーチ西側 実施方法：2024年小中学校の夏休み期間の4日×2回 【体験会開催のお知らせおよび参加者募集広告】 弊団体のホームページ、Facebook、Instagram、他ショップに告知し、予定の日程全てが、告知後1か月で申込者多数により、満員御礼となりました。  NPO法人SUPUスタンドアップパドルユニオン ☆お気に入り・2024年5月29日・🌐 【夏休みこどもSUP体験会 2024】 今年もやります！ 小中学生を対象に夏休みこどもSUP体験会を開催します。 夏の思い出に茅ヶ崎の海でSUPを体験してみてください！ 開催日：6/30(日) 7/7(日) 7/14(日) 7/21(日) 1部：8:00~9:30 2部：10:00~11:30 ※各日とも1日2部構成 定員18名 参加費用1,000円(保険代込み) ※当日お支払いいただきます。 申込先：オンラインによるお申込みとなります。 ==> https://docs.google.com/.../1FAIpQLSdrewXvsVp.../viewform... 開催地：茅ヶ崎市ヘッドランド西側 主催：NPO法人SUPUスタンドアップパドルユニオン お問い合わせ：info@supu.co.jp SUPU事務局参加費(各回)：¥1,000ー 当日、現地にてお支払いいただきます。※海況により、中止の可能性もあります。その場合は、ご登録のメールアドレスにご連絡致します。 【体験会に向けた準備】 ① 体験会のカリキュラム これまでの反省点を踏まえ、体験会の集合時間から開始時間までの間に道具の説明やこども達とのコミュニケーションを取り、こども達が海に出やすい環境を作りました。事前の海の簡単講習（危険と安全講習）を追加、インストラクターも増員し、安全に特に配慮しました。

	 
事業の参加者数	実施回数毎 20名 8回の実施 延べ160名
事業の日程	2024/6/30(日) 40名 2024/7/7(日) 40名 2024/7/14(日) 40名 2024/7/21(日) 40名 各日ともに第一部：8時集合 8時30分～ 9時30分 第二部 = 10時集合 10時30分～11時30分

事業の成果と今後の展開

1) 場所・時期

海の安全講習を含めた開催とするため、夏休み少し前から始めました。ヘッドランドビーチ西側エリアは混み合うことなく安全に開催できました。

例年開催していることから、募集を開始後、早々に満員となりました。

2) インストラクター人員

1回あたり8～9名体制＋サポート補助員

昨年よりも増員したことにより過不足なく対応できました。

3) 参加費用

一回あたりの参加費が1000円であることは概ね好評でした。

4) 来年度以降について

SUPが、子どもたち、親たちからの注目度が高いと改めて感じ、補助金がなく参加費を増額しても参加したいとの意見もありました。

地域の飲食店なども、体験会後に食事に寄られたり、SUP体験会を認知いただき、地域の繋がり、茅ヶ崎を盛り上げる一つとしてSUPを活用することを歓迎してくださる方々もおられ、海のアクティビティとして継続して行っていきたいと思います。

SUPを通じて、海の危険と安全の講習を含めた体験会を繰り返し継続して行きたいと思います。

(年齢別参加者数：延べ)

5才	4	11才	25
6才	14	12才	25
7才	15	13才	19
8才	22	14才	11
9才	21	15才	4

うち初心者：55名

茅ヶ崎市内地域別（延べ）

ひばりが丘	5	高田	7
共恵	9	室田	6
若松町	18	松浪	18
出口町	12	東海岸北	23
小和田	8	東海岸南	25
中海岸	17	美住町	12

例年開催していることから繰り返し来られる方および
ロコミで来られる方が多数。

以下、アンケート結果

① 参加費について

- ・ ちょうどよい 80%
- ・ もう少し高くてもよい 15%
- ・ 無料にしてほしい 5%

② インストラクターの数

- ・ ちょうどよい 100%

アンケート結果（主なコメント）

- ・ とても楽しく参加できました。金額もちょうどよいとおもいました。スタッフのインストラクターは丁寧に教えてくれ、人数もかなりいらしたので安心出来ました。
- ・ 昨年につづき2回目の参加でした。小6の息子は楽しかったと話しています。
- ・ また来年も参加したいです。
- ・ 少しコツがわかってきたところで終了となってしまって物足りなさを感じていたようです。
- ・ 海の危険なことも聞けて、親が知らないことも学べて良かったと思います。

今後の活動について

過去3回の実施および各所へのアナウンスをしてきたことから、毎年開催を期待されていることが良くわかります。
資金面も含め、継続して開催できるよう今年も検討したいと思います。

収支決算書

収入

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
1. 参加費収入	¥160,000	¥160,000	参加費 @1000 × 20名 × 8回 SUPUで負担。一般SUPスクール等の運営資金から捻出。 市民活動げんき基金補助
2. 団体収入	¥698,000	¥684,000	
3. 補助金収入	¥500,000	¥500,000	
	¥1,358,000	¥1,344,000	

支出

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
謝金	¥960,000	¥1,080,000	SUPインストラクター団体(一般社団法人日本SUP指導者協会:SIJ)講師料:@15,000(前年から減額) × 8名 × 8回 ※9名に増員 チラシ@20 × 400枚、ポスター@200 × 50枚 ※Facebookにより告知ですぐに定員となったため割愛 三井住友海上レクリエーション保険:@17,500 × 8回 ※母体のHosoi Surf&Sportsの保険を流用 キッズ用ソフトSUP+パドルセット+ライフジャケット @5,000 × 6式 × 8回
印刷製本費	¥18,000	¥0	
保険料	¥140,000	¥0	
使用料・賃借料	¥240,000	¥264,000	
	¥1,358,000	¥1,344,000	

第 9 号様式（第 17 条関係）

市民活動推進補助事業実績報告書

令和 7 年 3 月 31 日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 一般社団法人リトルハブホーム

代表者氏名 代表理事 岩崎 愛

令和 6 年 4 月 1 日付け 6 茅市自第 6 号で交付決定を受けました「ボランティア養成講座 HP の作成」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

事業名	ボランティア養成講座 HPの作成
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	子どもの現状・社会的養護に関する課題を学ぶ講座、子どもに対するコミュニケーションスキルを学び実践に生かす講座 (2回連続講座×年間3回の実施) 第一回 ①9月14日茅ヶ崎市の子どもと『やさしい子育て』 講師：市職員／茅ヶ崎市こども家庭センター 井上仁氏(元大学講師、社会的養護現場経験者)他一名 会場：うみかぜテラス 2F-1 費用：500円(両日程合わせて) 講義内容：2024年度に新設されたこども家庭センター(旧家庭児童相談室)から、地域でのセンターの役割や取組み、子どもたちの現状など講話。また、長年児童養護施設で子どもたちと関わり、子育て支援員の研修講師もされている井上氏による講義と体験型のグループワークを通して、“やさしい子育て”についての理解を深める講座を開催。学習塾のスタッフにもお越しいただき関わっている子どもの話をさせていただきました。 ②10月5日『子どもにやさしい子育て』(コミュニケーションスキル)を学ぶ講座 講師：芦田操氏(高校教師、カウンセラー)他一名 会場：駄菓子屋 mini ひまわり 講義内容：カウンセラーのいる駄菓子屋・子ども食堂兼フリースクールなどを運営している芦田さん(現高校教師)から、子どもたちとの関わりの実態と子ども大人も安心する関わり方のhow-toを学ぶ講座を開催。スタッフにもお越しいただき関わっている子どもの話をさせていただきました。 第二回 ①11月30日『学校現場から見る子どもたちの今』 講師：山田剛輔氏 会場：うみかぜテラス 2F-1 費用：500円(両日程合わせて) 講義内容：教員20年目の山田剛輔氏から日々子どもたちと過ごす中で築かれた心持ちを伺った。“学校”という関わりや“学び”の捉え方などから、子どもたちの安心する関わりについて、お話しいただいた。 ②12月14日『様々なコミュニケーション方法を知ろう』 講師：コーチング 井上浩之氏 コーチング 稲葉きえ氏 心理士 木内寛長氏

会場：うみかぜテラス 2F-1 講義内容：“教育・親子コーチング”や“聴き方講座”を展開されているお二人と心理士さんによる様々な手法を切り口に、こどもも大人も安心するコミュニケーション方法を知り、ワークなどが体験できることのできる講座を開催。 第三回 ①2月16日『まちのホストファミリー』 講師：坂本歩氏、渡辺陸美氏、前田信一氏 会場：うみかぜテラス 2F-1 費用：500円（両日程合わせて） 講義内容：こどもを地域で育てる仕組みの一つであるショートステイや短期・週末里親などについて、里親のもとで育ったお二人と長年施設などで子どもたちと関わってきた前田氏をゲストに、お話を伺った。 ②3月29日『茅ヶ崎市こども関係ボランティア団体のご紹介』 講師：各団体1名ずつ （遊びでまちづくりする準備室、駄菓子屋 mini ひまわり、茅ヶ崎冒険遊び場ちがぼ〜、わわわのわ、たんぼぼひろば、にじカフェ、びすた〜り） 会場：駄菓子屋 mini ひまわり 講義内容：新規取り組みで Little Hub Project の Web サイトに掲載される予定の子どもに関する活動団体にお越しいただき、それぞれの活動や“まち”に対する想いをパネルディスカッション形式で伺った。団体同士の横のつながりが欲しい、今後活動に参加してみたい、自分たちの活動の参考にしたいなど、想いあるみなさんから関わっている子どもたちや様々な声を伺い、つながる機会の講座を開催。 （広報について） 市民自治推進課（市内掲示板、コミュニティセンターなど）、社会教育課（公民館、図書館など）、こども政策課、地域福祉課 茅ヶ崎市主任児童委員、民生委員、家庭児童相談室、ファミリーサポートセンター、海岸地区社協、茅ヶ崎市社協、かながわ生き生き基金 はますかボランティアセンター、松浪包括支援センター、子ども関係講座などにて配布、茅ヶ崎市内飲食店など 掲載→タウンニュース、T Style、神奈川新聞などへの掲載 《収支決算書》 ・講座に使用する物品についてはカラーペンは市民活動サポートセンターからお借りし、模造紙の寄付があり使用した。 ・ポストカード配布については、講座参加者やチラシ同様に関心のある方々に配布。専門家のデザインによるポストカードのため見た目も分かりやすく好評いただき増刷していただいた。

	新規取組報告： 【ボランティア活動を始める方に向けた新規 WEB ページ開設】 2024 年 4 月より、新たな WEB ページを開設するため、専門機関と Web ページチームを結成し、新規プロジェクト「Little Hub Project」を立ち上げた。 本プロジェクトの目的や内容について、毎月定期的に打ち合わせを行い、計画を進めた。 本プロジェクトでは、「子どもに関わる存在を増やすこと」を主軸に据え、「子どもに関心のある層をいかにボランティアへと結びつけるか」を検討。 その結果、ボランティア活動に関心を持つ新たな層を引き寄せ、地域全体のつながりを強化することを目的とした「Little Hub Project」WEB ページを開設するに至った。 本 WEB ページの主な特徴は *子どもに関心のある層を対象に、ボランティア活動の魅力を発信 *地域の子ども支援団体の活動内容を分かりやすく紹介 *視覚的にわかりやすく、またボランティア活動の具体的なイメージを伝達 *当法人のビジョン・理念を明示し、共感を生むコンテンツを提供 さらに、茅ヶ崎市内の子ども活動団体の認知度向上を目的として、WEB ページに加えて Facebook ページも開設し、日々の SNS 発信を強化。これにより、地域全体とのつながりを促進し、より多くの方々がボランティア活動に参加しやすい環境を整えていく。 今後も、プロジェクトの運営を継続し、さらなる情報発信の充実を図ることで、地域社会における子ども支援の輪を広げていく。
事業の参加者数	第一回①14 名②13 名（両日参加 7 名） 第二回①12 名②8 名（両日参加 4 名） 第三回①6 名②9 名（両日参加 2 名） 合計61名（延べ運営ボランティア・スタッフを除く） *連続講座、両日程合わせて500円（1日でも500円）
事業の日程	第一回①9 月 14 日（土）13:30~15:30 ②10 月 5 日（土）13:30~15:30 第二回①11 月 30 日（土）13:30~16:00 ②12 月 14 日（土）13:30~16:00 第三回①2月16日（日）14:30~17:00 ②3月29日（土）14:00~17:00 *全ての日程で、講座終了後、30分ほど交流会を設けた。

事業の成果と今後の展開	事業の成果：講座に関する事業成果として、すべての講座を通して、参加者は地域における子どもの課題を身近に感じ、学びとつながりの機会を得たとの回答。（詳細アンケート） さらに、地域で課題認識を共有し、グループでのロールプレイや対話を通じて支援者同士が繋がり、継続的に関わられる力となるネットワークが築かれた。 特に講座後の小規模な交流会や、各グループにリトルハブホームのボランティアを配置することで、顔の見える関係を築き、信頼関係を強化。その結果、リトルハブプロジェクトとして先行して開設したFacebook ページには、132 人の登録者を得ることができた。 当補助事業にて受託し、げんき基金を用いて広報活動を行い、地域の子ども現状に関心を持つ多くの参加者を集めることができた。 また、2024 年度には参加者 62 名の参加があり、講座を通じて、受講者がボランティア活動に参加するようになり、当団体内で活動するボランティアも昨年の 12 名から 20 名へと増加。この増加は、ボランティア養成講座の効果を実感できる成果となった。 さらに、さまざまなテーマの講座の開催を通して、地域の子どもの現状に対する理解が深まり、その結果として新たにボランティアとして参加する人が増え、波及効果が生まれた。 また他団体に従事している方など延べ 25 名おり、多くの方がボランティアの関心を寄せていることがわかった。 Web ページでは、茅ヶ崎市を拠点に活動しているこども関連団体 8 団体にご参加いただき、子どもに関心のある人々が活動への思いを持ち続けられるよう、茅ヶ崎市の子ども関連団体を紹介するサイトを作成した。このサイトは、関心を持つ人々がそれぞれの持ち味を活かしてつながり続けられる場を提供する予定。さらに『まちのつながり』として多様なつながりもご紹介できるページも用意した。 登録されている団体からは、「活動がわかりやすく提示できるようになった」「改めて目的やビジョンが明確化できた」と好評をいただいている。これにより、茅ヶ崎市内の子ども活動団体のそれぞれの役割が明確化され、つながりが強化されることを目指す。 今後の展開：今後もこれまでの活動を継続し、地域に根ざしたハブ（拠点であり“存在”でもある）を増やしていくことを目指す。このハブが地域に広がることで、茅ヶ崎市の子どもや大人が安心して過ごせるまちづくりを推進していく。
-------------	---

	今回作成に至った Web ページを活用し、子どもたちの現状を広く発信することで、関心を持つ人を増やし、子どもに関わる人材を確保。そのために、継続的に参加しやすい講座や多様なきっかけを提供し、地域とのつながりを深める。 さらに、地域に貢献できる学びや経験の場を提供し、子どもたちや地域の成長を支えるステップを築く。子どもに関わる学びの機会やつながりを創出することで、拠点を地域に根付かせ、子どもも大人も安心して共に成長できるまちづくりを実現していく。 運営面に関しては、協賛個人・団体・企業などを増やすとともに、令和 7 年度は特に企業への協力者を増やせるよう広報活動に尽力する。
--	--

収支決算書

収入

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
事業収入	25,000	24,500	参加者負担費用500円×①20名②16名 ③13名 24500円
寄付金収入	108,701	101,936	団体寄付から充当
補助金収入	500,000	500,000	市民活動推進補助制度
	633,701	626,436	

支出

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
賃金（会員外）	12,000	12,000	【ボランティア謝礼】 1,000円×2名×6回＝12,000円
謝金	144,000	141,000	【講演者謝礼】 1名12,000円×10名（3000円×7人）＝ 141,000円
旅費			
物品費	13,536	440	付箋等の購入。その他の費用については模造紙の 寄付などあり使用。
印刷製本費	14,285	19,536	インク代（1265円）、配布用チラシA4 1000部 （2720円、3050円、3490円）、 印刷代200円※ □2回＋750円（講座に伴う印刷 代）webポストカード計550枚（3311円＋4550 円）
委託費	447,000	447,700	ボランティア流入のための事業専用webサイト （NPO法人湘南スタイル様）
保険料			
使用料・賃借料	2,880	5,760	【うみかぜテラス】1時間480×3時間×4日＝ 5,760円（9／14、11／30、12／14、2／16）
	633,701	626,436	

令和6年度リトルハブホームが年3回開催した連続講座の様子。

地域の皆さんと共に学び、つなげる機会を持って、
子どもも大人も一緒に育ち合うまちを目指して活動しています。



<講座後の感想>

- 茅ヶ崎のこども家庭センターにそれ程多数の連絡が行くとは知らなかった。何かあった時には、連携を取るなどして今後の活動に活かしたい。
- 子どもへの接し方をあらためて考える機会となり、また子どもに関わる様々な活動をされている方々とお会いできて、とても有意義な時間でした。
- 子どもと一緒にできるボランティアがあったらやってみたい。
- 私も普段から娘の「したい・やりたい」を尊重し、「好きを伸ばす」ことを重視しているので、講師の芦田操さんのお話しはとても共感し、またとても参考になった。
- 自分の思考を整理して捉える事はとても大事な事だと感じました。
- 参加されていた皆さんが様々な活動を起こしていて、パワフルで、とても刺激を受けました。
- 盛りだくさんの内容で、時間がまだまだほしかった...でも、色々な角度から向き合う・関わり合う事を今回改めて考えさせられました。
- 自分の子どもを育てるだけでは見えない、地域の子育て事情を知ることができて、自分の仕事を通じてどんなことで貢献できるのかを改めて考えるきっかけを頂きました。
- 子どもにとっての学びの環境が大切であり、自ずと自ら学ぶ様になることが、改めて知ることができた。
- もっと地域の力を活用したら、色々な可能性が広がると思った。
- とにかく自分も小さなアクションを続けることが大事だということがわかりました。
- 子供との関わり方と同時に、ご家族との関わりをもっと深く考えたいと思いました。

参加くださった多くの方たちは、すでにご自身で活動されている方も多く、この講座を受講したことで改めて今後も活動が続けていきたい、という方や、またこれからボランティア活動などをしてみたいというご感想も頂きました。

Little Hub Project

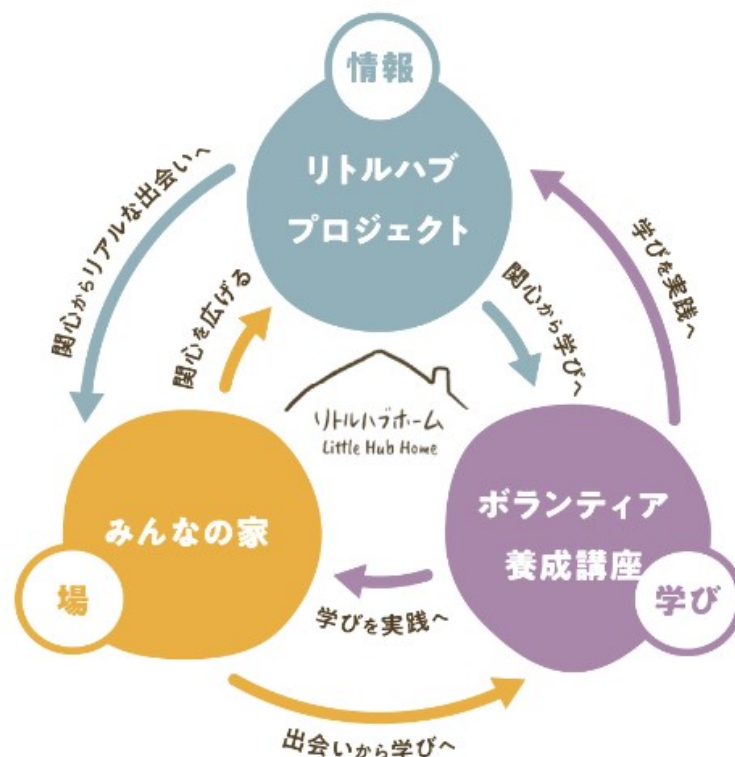
「リトルハブプロジェクト」は、孤立しがちな子どもたちが社会とつながるきっかけとなる小さな「かかわり」を、まち全体に増やしていくソーシャルプロジェクト。

湘南・茅ヶ崎から、全国へ。かかわる人や拠点（リトルハブ）を増やし、つないでいくことで、子どもも大人も安心して暮らし、ともに育ちあうまちを育んでいきます。

必要なのは、特別なスキルではなく、「何かできないかな」という一人ひとりの小さな気持ち。その灯火を絶やさず大切に、あなたも一歩を踏み出してみませんか？

リトルハブプロジェクト ウェブサイトOPEN!

「リトルハブプロジェクト」のウェブサイトでは、茅ヶ崎市
市内の子どもに関わる活動をしている団体をご紹介し、ボランティア情報を発信します。経験者さんたちの声も掲載予定なので、気軽に覗いてみてください。
気になる団体さんに問い合わせをすることもできます。



一般社団法人リトルハブホームは、“小さな拠点(ハブ)がつながれば、まち全体が大きな家(ホーム)に”をコンセプトに、子どもも大人も安心して暮らし、ともに育ちあうまちを育むため、神奈川県茅ヶ崎市を拠点に、場【Home】、学び【Learning】、情報【Information】の3つの軸で、人々に気づきのきっかけをつくる活動を展開しています。

